

教皇 スリランカとフィリピンを訪問 アジアの教会に愛と希望のメッセージ

教皇フランシスコは、2015年1月12日(月)から19日(月)まで、スリランカとフィリピンを司牧訪問した。教皇のアジア訪問は、昨年8月の韓国に続く2度目。

スリランカ・コロombo市内で、教皇は14日(水)、福者ヨセフ・ヴァズの列聖ミサを執り行った。また諸宗教リーダーと会見し、諸宗教間の前向きな関係の構築に力を注ぐよう、呼びかけた。

フィリピンでは、一昨年の台風で深刻な被害を受けたレイテ島タクロバンとパロを訪れ、ミサを司式。「私たちが体験したすべての試練を主が体験された」と、共に生きている主を説き、また自らの訪問で示し、被災者たちを励ました。

マニラでは「家族たちとの集い」「若者との集い」を持ち、信仰者としてのアイデンティティと使命を生きる大切さを伝え、彼らの社会への貢献に対する期待を示した。ストリート・チルドレンの保護施設の訪問や、イエズス会士との交わりの時など、フランシスコ教皇らしいサプライズもあった。

18日(日)、フィリピンのカトリック教会の暦でサントニーニョ(聖なる幼子イエス)を記念したこの日、教皇はミサを捧げ、マニラ市内は会場となったリザル公園を中心に、およそ600万人の信者であふれた。

教皇は訪問の先々で、苦しむ人、貧しき人に寄り添うメッセージを語り、正義・連帯・平和のある社会を共に構築する必要性を説き、アジアの教会が歩む道すじに、真理と希望の光を与えた。

カテドラルのクリスマスに2000人 小さなローソクに輝く教会を訪れ祈る人々

2014年12月24日(水)、カテドラル大名町教会での降誕祭夜半のミサは18時半、21時半と3回行われた。最初のミサは、恒例になっている表階段での子ども達のクリスマスキャロルで始まる。明治通りを行交う人々に、今夜神の独り子が来て下さることを告げるのである。

主式のミサは、入り口にそびえるアンゼラスの鐘の音と共に始まる。ビルの谷間に響き渡る音に促されるように人々が入ってきて聖堂はいっぱいになった。このミサの始めに宮原司教は、信徒でない人々に配慮するかのよう、「よくおいでなりました。心から歓迎いたします」と会衆を招いた。またミサの中では、救い主の誕生が最も貧しい羊飼いにまず知らされ、大きな希望が与えられたことを話し、「多発する災害や個人が持つ痛みや弱さなど、現状は順風満帆でなくとも、希望を持つ人は

「周囲の出来事、周りの人々に心を向けることは平和を築くための第一歩です。平和は何によって崩されるでしょうか。それはわたしたちの無関心です」。宮原良治司教は、1月1日「神の母聖マリア」



のため過去をしつかりと振り返り、将来を見据えるために、自分の周囲に起こる日々の出来事に関心を抱き、心を寄せましよう。教皇様は、無関心が人々の心に広がっていることを憂慮しておられます。そ

の祭日のミサをカテドラル大名町教会でささげ、説教の中でこのように語った。粉雪舞う寒い元旦のミサに参集した500余人の参列者は、熱心に説く司教の話に聞き入った。

「もう一つは、ユスト高山右近殉教400年祭です。豊臣秀吉が博多で伴天連追放令を出したとき、右近は2度にわたって秀吉に会い、追放令の取り消しを求めました。何人も逆らうことができなかった。

「今年、日本の教会はさらに、二つの出来事を記念します。一つは、長崎における信徒発見150周年です。厳しい弾圧を受けながら、しかも一人の宣教師、司教もいない中、250年にわたって信仰を受け継ぎ、守り、次の世代に語り継いでいった。世界に類を見ないキリストへの信仰に生きた証しです。このような信仰の伝達の模範がわたしたちに与えられています」。

祭壇奉仕者選任式

日時: 2月8日(日) 9時30分
場所: カテドラル大名町教会
受選任者: ペトロ金貞根 (キム・スォンクン) 神学生
司式: ドミニコ宮原良治司教

司祭叙階式

日時: 4月12日(日) 15時
場所: カテドラル大名町教会
受階者: ペトロ李昇炫 (イ・スンヒョン) 助祭
司式: ドミニコ宮原良治司教
◆新司祭の誕生をみんなで共に祈りましょう。
◆駐車スペースを考え、できるだけ公共交通機関でお越しください。



A・ラプラント神父
(サン・スルピス司祭会)

2015年1月1日、モントク信者なんです」と打ち明けると、「そうなんです」と笑顔で聞いてくださいます。カトリックの幼稚園は園児だけではなく、園に足を運ぶお母さま方の心にも「あなた方は地の塩・世の光」というイエス様の言葉の種を蒔いていらつしやるのです。本当に感謝しております。ですので、この場をお借りして、園の運営に関わっていらつしやるすべての方々にこの素晴らしいお母さま方のことをお伝えすると共に、感謝を申し上げたいと思っております。

その現状をしつかりと受け止め、乗り越えられる。救いを望み、信じる人の力とエネルギーはこの希望から湧いてくる」と語った。

ラシエル・ジアルさん
ミッシェル・ジアル神父(箱崎教会主任・ドミニコ会)のご母堂が、1月11日、カナダ・ケベック州グレンビーで85歳の生涯を終えられ、主のみもとに召された。



M・マホニー神父
(聖アウグスチノ修道会)

昨年12月29日に長崎・聖フランシスコ病院で帰天。81歳。1933年、米国マサチューセッツ州に生まれ、60年7月10日、ローマで司祭叙階。62年来日。長崎・城山教会を経て、75年より笹丘教会(福岡教区)に赴任、87年まで主任司祭を務めた。その後、名古屋・港教会、東京・葛西教会、08年から再び長崎・城山教会で司牧にあたっていた。

リオールのサン・スルピス司祭会カナダ管区本部にて帰天。93歳。1921年1月9日モントリオール生まれ。47年6月5日、司祭叙階されサン・スルピス司祭会に入会。50年来日。福岡サン・スルピス大神学院の養成者、教授。57年から68年まで同神学院第3代院長を務め、九州・沖縄の司祭養成に力を尽くした。典礼の専門家として、教区神学講座講師、叙階式など典礼儀式の式長を務めた。81年の教皇ヨハネ・パウロ2世の長崎訪問で、浦上教会での司祭叙階式では教皇儀典長を補佐した。94年カナダに帰国。管区本部に引退していた。

計報

時の話題

地の塩・世の光

スタッフの他に、保護者のお母さま方に当番制で見守りのお手伝いをボランティアでお願いしています。こちらの小学校では開設して今年度で4年目になりますが、最近あることに気づきました。校区の近くにカトリックの幼稚園がいくつあるのですが、その園出身の子どものお母さま方はどこか一味違うのです！ひとこと言うならば「愛を運ぶ人」です。奉仕の精神に溢れておられ「私でよければお手伝いします」と、いつも笑顔でわいわい広場の運営を助けてくださる方々ばかりなのです。皆さん信者ではないようですが、そのお母さま方には安心して、「私はカトリック

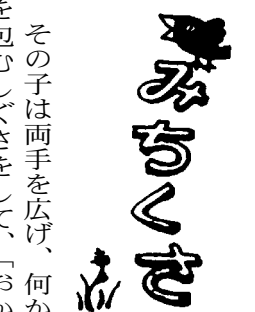
その子は両手を広げ、何かを包むしぐさをして、「おかあさんにちゅくぶく(祝福)をわけてあげる」と言い、包んだ両手を母親の頭にそっと乗せた。母親は「ありがと、神様のお恵みでいっぱいになった」とお礼を言った。何となくわしい光景ではあるまいか。その子はミサの中でいただいた祝福を大好きな母親に分けてあげたのだ。既にその子には、神に向かう心が培われているのである。3歳にも満たないのに。神との関係が築かれているのである。しかし、そのように育てたのはその子の母親である。母親は平日のミサにもその子と一緒に与る。母親は聖体を拝領するが、抱っこされたその子には司祭の祝福の手が乗せられるのである。その子はその時に必ずこやかに、「ありがと」と小声で言う。司祭も静かに「はい」と答える。そしてその子はいつの間にか、いただいた祝福を分け与えることを知ったのである。▼「信仰の伝達」も耳慣れた文言である。家庭の中で、地域社会で、学校で、職場でその文句が生かされているのだらうか。神の国の一員であり、キリストの兄弟であり、キリストの弟子である私たちの宣教の使命は、どの状況に置かれても果たされるべきである。それは洗礼を受けた者の使命である。いわゆる「預言職」である。「王職」「司祭職」に与る私たちの仕事である。いただいた善きものをしまっておかないで、「信仰の伝達」という言葉を意識しながら、他者との関わりの中で宣教の使命を果たし、恵みを分かち合っていくべきように。



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行所 下町豊重
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

2月の意向
【一般】囚人たち
【宣教】離婚した人々
【日本の教会】ユスト高山右近の列福に向けて
教皇様の意向のために祈りましよう

「ないとうなつちやん！」と手を振ってランドセルを背負った小学生たちが走って来ます。そして、運動場でドッジボールや一輪車、おにごっこ、砂遊びなどそれぞれが自由に遊び始めます。これは現在、福岡市内の約半分の小学校の放課後に見られる、わいわい広場(福岡市の事業)の光景です。私はそこで子どもたちの遊び場を作るわいわい先生をしています。そこでは私たち



天草3教会合同堅信式 聖霊の賜物を受けて、始業！



呼びかけ、価値あるものを知ることが真の喜びとなると論じました。

ミサの終わりに受堅者を代表して大江教会の山下勇馬さんが、「堅信の準備で学んだことを大切に、よい信者になるように努力します」とお礼の言葉を述べた。

代父母や保護者からは、「堅信式は終業式ではなく始業式ですよ」との励ましの言葉が贈られた。

天草の大江、崎津、本渡3教会合同堅信式ミサが12月14日、大江教会で行われ、小学生3人、中学生11人、成人1人の計15人が聖霊の消えない印をいただいた。

宮原良治司教は説教の中で、堅信の秘跡を受ける人たちに「本当に価値あるものは何かを理解してほしい」と

祝賀会では、受堅者一人ひとりが決意表明を行った。本渡教会の平石真輝さんは、聖霊の7つのたまものをヒントに「知識を増やし、学んだことを理解し、それをもとに物事を正しく判断し、勇気をもって実行していきたい」と述べた。

他の受堅者たちも、「積極

的にミサにあずかって信仰生活を深めていきます」と決意表明。

小学生の小さい子ども達も、妖怪ウォッチのダンスなどで祝福した。

渡辺隆義神父は「天草では堅信式は4年毎に行われていますが、今回は崎津教会と本渡教会に該当する子ども達がいらないのがありがたい」と話していた。

第51回教区クルシリヨ キリストから与えられた使命

1月10日〜12日、福岡黙想の家にて、第51回クルシリヨが開催された。

今回のクルシリヨは試みとして、これまでのあり方を刷新した。信徒奉仕者用マニユアル『クルシリヨの要点』か

ら〈聖霊〉〈信徒使徒職〉〈派遣と使命〉のキーワードを抽出、全体のテーマ『キリストから与えられた使命』を設定した。そして、テーマを具体化するための小テーマを決め、司祭の講話と分かち合いを柱にしたプログラムに仕上げた。

信徒からも病人訪問などの聖体奉仕に励むクルシリスタからの講話を設けた。5名の参加者とスタッフが一体となって「信仰のよさ」を共有することができた。

また、この「クルシリヨを信仰の再発見の場としてほしい」という指導司祭・マヘル神父と染野治雄神父の挨拶から、最終日の宮原良治司教様を迎えての締めくくりに講話「キリスト者の



女子跳足カルメル会 イエスの聖テレサ生誕500周年をむかえて ①

「奉獻生活の年」にあたり、特別な使命と目的のために、照らしを受けて創設された共同体とその働きを振り返る。はじめは女子跳足カルメル修道会、3回連続で創立者イエスの聖テレサについて紹介する。」

テレサには姉と妹、9人の兄弟がいた。両親は敬虔な信者で大勢の使用人のいる大家族だった。幼いテレサは神様が見たかった。そして解らないながらも心を惹かれるものは、いつまでも、いつまでもという「永遠」のことだった。

1536年に21歳でカルメル会に托身修道院に入会。神

跳足カルメル会の創立者イエスの聖テレサ（アピラの聖テレサ）は1515年3月28日にスペインのアピラに生まれた。時は大航海時代、ルネッサンス、ルターによって始まる宗教改革と異端審問、トリエント公会議開催という激動の時代であった。

ある日、傷だらけのキリスト像を見た。「これほどの傷に對し、自分がどれほど忘恩に對し、自分がどれほど忘恩に對し、主のみにひたすら伏して涙を流し、もう決して主に向かないように祈りました」。39歳になつていた。

回復を願って聖ヨゼフに切に祈った。ある時、這うことしかできなかったテレサが歩き出し、皆が驚いて「奇跡、奇跡！」と叫んだ。動けなくなつてから3年経つていた。

「奉獻生活の年」(2014年11月30日〜2016年2月2日)の始まりにあたり、教皇フランシスコは使徒的書簡を發布した。教皇はメッセージの中で「奉獻生活の年」を設けた目的を3つ挙げている。①感謝の念をもって、過去(起源)を振り返る ②情熱をもって、今を生きる ③希望のうちに、未来を受け入れる。第一の目的の「過去の振り返り」では、「どのように神がある個人を呼び、キリストに従うように招いたか」「呼ばれた個人が、どのように時のしるしを知ることができるか」など述べている。



使命に生きるよろこび」に至るまで、一連の講話はそれぞれが参加者一人ひとりの心の中に大きな寄せ波となって信仰の再発見と、「福音書共同体のよろこび」をもたらした。

恒例のクルシリヨ劇場では、参加者が隠れた才能を発揮して大いに楽しませてくれた。また中村克徳神父のギター伴奏による歌の集いも、アンコールが出るほど盛り上がった。



チャペルでの降誕祭ミサ後に司祭たちは看護学生の歌と共にケーキを配って各棟を巡る。(写真は、新生児にプレゼントをわたす山元眞神父)

聖マリア病院創立の第1回クリスマス会には79床の小さな病院時代。ミサ後に患者さんに配るクリスマスケーキは職員家族による手作りだった。

病院が大きくなった現在、ケーキは外注になったが、明光学園学生の歌など外部からのプレゼントで、入院されている患者さんと共にクリスマスを祝い、洗礼を受けておられない患者さんにも主のご降誕の喜びを伝える大切な行事として続けられ、今回で62回を迎えた。

していたら、有難うございます。成人を迎え、保育園から内定を無事いただくことができました。今後、子ども達のよいお手本になるような保育士を目指して頑張りたいと思います。」

(栗崎世奈)

HOMEとしての教会 おかえりなさい・いつてらっしゃい

教会共同体に希望の灯を運ぶ新成人の祝福式が、教区内各地の小教区で行われた。進学・就職などで故郷を離れている青年たちの帰省にあわせ、元旦に行われる所が多くなっている。西新教会(福岡)と手取教会(熊本)からの報告である。

西新教会では

福岡地方にうつすらと雪化粧が施された1月1日、神の母聖マリアのミサの中で、新成人の祝福式が行われた。

昨年、参加者がいなかったが、今年は幸いに一人から出席の返事があり、共同体は喜びのうちに当日を迎えた。

手作りのコサージュをつけた新成人は、司祭、侍者と共に入堂。ミサのなかで悪霊の



洗礼の恵みを新たに、信仰宣言をする新成人

拒否と信仰を宣言し、洗礼の恵みを新たにする祝福を受けた。この新成人の幼い頃を記憶している信徒は、その成長した姿に目を細めつつ、前途に神の祝福を祈った。

元旦はまた世界平和を祈る日でもある。そのミサの中で、一人の成人の誕生を祝うのは意義深いことだった。信徒代表は挨拶の中、人生に様々なことがあっても、常に信仰に拠り立つよう激励した。

返礼として、教会で育ったことへの感謝と、将来の目標を語る新成人には、爽やかな希望が感じられた。

このミサに与った中高生や子ども達は何を感じたのだろうか。彼らの原点・ホームとしての教会でありつづけた。

手取教会では

元旦午前11時のミサの中で成人の祝福式が行われた。新成人となった3人の言葉を紹介する。

「この度は成人のお祝いを

元旦午前11時のミサの中で成人の祝福式が行われた。新成人となった3人の言葉を紹介する。

「これまで歩みを振り返ると、両親をはじめ本当に多くの方々に生かされてきた20年でした。そして、そこには常に神様が手を引いて、時にはおんぶして導いてくださっていたためにもあります。これからもまた、神様やたくさんの方々に生かされる人生の中で、自分も周りの人を生かす存在、与える人になつていきたいと思ひます。伸びしろはありあまるほどあるので、日々成長していきたいです！ たくさん『ありがとう』を胸に、神様の旨のままに歩んで行きますように。皆様、今後もお祈りよろしくお願い致します。」

(純心聖母会志願者 堤志織)

【月例黙想会】

期 日：2015年2月14日(土)17時〜15日(日)15時

指導者：染野 治雄 神父(福岡黙想の家主任)

費用：8,700円(税込・指導料含む・部分参加は1,500円と食事代)

申込締切日：2月9日(月)

◆詳細はお問合わせください。

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222(9:30〜16:30)・Fax 0940-32-3385

Eメール f-mokuso@fmokusou.com

インターネットで検索

福岡黙想の家

検索



ミサ用ワイン



ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

唐津カトリック幼稚園

喜びの新園舎落成式



新園舎での式典で司教の話を聞く園児たち

教法人カトリック福岡司教区幼稚園として8人の歴代園長、38人へのぼる教職員の熱心な働きと保護者やカトリック唐津教会信徒の協力と祈り、近隣住民の理解と支えを得ながら、園児減少等による困難な時期を乗り越え、これまでに1598人の卒園生を送り出している。

初代から6代目までの園長はミラノ外国宣教会司祭であつた。同園があるのは、44年に亘るミラノ外国宣教会の支援と同司祭司達の献身的な働きのおかげである。

神の栄光を放った

黒崎修道院（援助修道士会）閉鎖



熱く語る古巣神父

2014年12月23日（火）、12月末で閉鎖が予定されていた黒崎援助修道士会の感謝のミサが川上惣一神父（黒崎教会主任）の司式、100余人の信徒の参加で奉げられた。

1936年に八幡教会（現天神町教会）に併設し、八幡援助修道士会として5人のシスターで奉仕活動を開始した。しかし、1945年8月8日の八幡大空襲で教会も修道院も焼失。8月15日の終戦。信徒の家など宿泊先を転々としたが、1946年1月4日、黒崎の山中にあつた兵舎跡を譲り受け活動を再開した。聖ヨゼフ診療所、幼稚園、老人ホーム聖ヨゼフ園などを開設し奉仕活動が続けてきた。

唐津カトリック幼稚園とその母体である佐賀マリア学園の福音を通じた幼児教育の充実・発展を祈りたい。

この日のミサでは、修道院の聖堂に入ることができない多くの信徒が外まであふれ、シスター方への感謝の祈りを奉げていた。

当時、小学生だったという黒崎教会信徒の一人は、「筋肉炎になり歩けなくなつた時、親に連れられてシスターがしていた診療所に来ていました」と懐かしそうに語った。

5人のシスターは、それぞれ下関や広島など、次の任地へ旅立つて行かれた。永い間の奉仕に心から感謝である。

小さな教会、小さな人々と共に

教誨師モヨリ神父と運ぶ「良き知らせ」



「4人目の博士」を演ずる寄せ集めチーム

山鹿教会は、主日のミサに参加する信徒15人ほどの菊池教会の巡回教会である。モヨリ神父に精力的に引張られ、その少ない信徒の中で、その日元気に動くことのできる者がその日の行事に参加している。

教会活動の一環として、待降節の刑務所訪問を12月12日（金）に行つた。今回は聖劇四人目の博士である。因みに

前回の復活祭のときは「エマオへの旅」であつた。この度は動ける山鹿の信徒だけでは足りなくて、武蔵ヶ丘教会から二人の応援を、また台詞のないマリア様の役はイタリア語の勉強に来ている若い未洗者の方をお願いした。練習は二回、殆んどぶつつけ本番である。皆ハラハラ、ドキドキ。しかし無事に終えた時、会場の雰囲気は、一変！収容者・刑務官・私たちが皆が一つになつていたのを感じた。そこには人々を隔てるものは何もなく穏やかな平和な空気が漂い、涙している人もいた。

神の恵みと平和のうちに

「ロザリオの園で「年初の祝福式」



佐賀市内にあるロザリオの園の施設（聖母の騎士会立）のチャペルで、1月5日、恒例の「年初の祝福式」が関係者60人程が参集して行われた。司式した下町豊重神父は、「神からの尊い価値ある生命を預かり、大切にその任務を負っている人たちがそのことを意識し、イエスやマリアに

た。迫害が激しくなつていき、キリシタンを追いつめる方策・拷問がひどくなつていく時代にあつても、教会は滅びず、信徒たちは「組」という共同体を構成し、信仰を深め、守つていった。「組」では徹底した黙想が行われ、キリストに倣つたことから生まれた殉教であつたと、この時代の信仰が、祈りと黙想を核にしたものであつたことを強調した。

☆使徒信條を詠むキリスト教信仰の意味と展望

阿部伸麻呂 著

信徒向けの「使徒信條」の講話を元にした解説書。親しみやすい筆致で、十分な神学的知識を提供しつつ、神の賛美への道を開く。三位一体の神学を基盤に「使徒信條」の成立、その現代的な意味を分かりやすく説き明かす。

教友社発行 A5並製 税込み価格 2268円

☆堅信への旅

横浜教区典礼委員会 編

イエス・キリストの友、また、使徒として教会共同体とともにイエスの使命にあずかる一人前のキリスト者となるための手引き書。「洗礼」について復習し、「堅信」を受ける良い準備ができるように、工夫されている。主に中学生、高校生対象。

サンパウロ発行 A5並製 税込み価格 756円

☆シスターたちとその歴史と今と未来に向かつて

林義子 著

奉獻生活をしていく100の修道会と在俗会を紹介。なぜ彼女たちはその道を選び、そこでどんな生活をし、何を目指して、喜んで共に祈りかつ働いているのか。

女子パウロ会発行 税込み価格 1296円

BOOK 読み専科

不動産全般/売買・賃貸・管理

なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号

TEL 092-761-8800

http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313

福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅（新築・改築工事）
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号

☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD

福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F

平日/AM 10時~PM 5時40分

日・祝日/AM 11時~PM 4時（水曜日定休日）

TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601

URL: http://www.pauline.or.jp

信仰の伝達

北九州地区聖書講座

年間テーマ：イエス・キリストに従って歩む教会
～ヨハネによる福音書に照らされて～
日 時：2月1日（日）14：00～16：30
場 所：カトリック小倉教会
テーマ：ヨハネによる福音書の紹介と他の福音書との違い
講 師：牧山美好神父（新田原教会）
主 催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

諸宗教対話グループの研修会

日 時：2月11日（水・祝）14:00～16:30
場 所：カトリック手取教会
内 容：新指針『Dialogue in Truth and Charity』（真理と愛徳に基づいた対話）の説明
講 師：フランコ・S神父（真命山院長）
関心のある方はどなたでもご自由に参加できます。
問合せ先：長濱 携帯 090-1199-4057

イエスの聖テレサ生誕 500 周年記念講話

日 時：2月15日（日）14:00～
場 所：福岡カルメル会修道院
テーマ：21世紀のために生まれた聖テレサ
講 師：中川博道神父（カルメル会）
問合せ先：カルメル会修道院 ☎092・807・7361

ホームレス支援グループ・スープの会



美野島司牧センターでは12月から越冬体制に入り、毎週金曜日に炊き出しと夜回りを続けています。大名町教会ホームレス支援グループ「スープの会」では、例年その後半期を引き受け、協働という形で活動しています。30年近く続く活動で、小教区の垣根を越え、多くの教会内外の方がご参加くださっています。寒さの中、野宿を余儀なくされている人々のため、みなさまの手を足を声を心をお貸しください。

2月から3月2週目までの毎金曜日
・調理ボランティア 14:00 大名町教会1階厨房
・配布ボランティア 20:00 大名町教会1階講堂
問合せ先：深堀伸一 携帯 080・1793・0481
飛永 薫 携帯 080・4317・4152

福岡教区広報室アドレス
<http://fukuoka.catholic.jp>
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

福岡教区・震災被災者支援室

3.11 今こそ、ともに

東日本大震災からまもなく4年目を迎えます。大槌ベース（長崎教会管区支援拠点）や福島家族支援活動等に、多くのお祈り、支え、献金を賜り、感謝申し上げます。これからの、すべての命をいづつしまれる主に倣い、被災地の方と交わり、現状を知り、そこに生きる人々と共に歩んでまいりましょう。

Caritas Japan OTUCHI-BASE 引き続き、ボランティアを募集しています。

詳細はHP（<http://otsuchibase.web.fc2.com/>）でご確認ください。福岡教区・震災被災者支援室からの補助もあります。詳細は支援室担当司祭まで。

「福岡教区・震災被災者支援室」への募金
口座番号：01760-6-2072
加入者名：カトリック福岡司教区
■ご送金くださる時は必ず、通信欄に『支援金』と明記してください。

福岡教区・震災被災者支援室 担当：森山信三神父
問い合わせ先：☎0942・32・8011（久留米教会）
mail: sulpices@plum.ocn.ne.jp

【お詫びと訂正】
1月号2面「カテキズムを学ぶ⑬」の中で「教えている様に、神」（第3段、2行目）は「教えている様々の神」の間違いです。お詫びして訂正させていただきます。

編集後記
編集を通し、人々の様々な節目に触れる。そうして一つの出来事を胸に、生きてゆく。2月、灰の水曜日をもちて四旬節が始まる。キリストの十字架と復活を記念して、日々生きていきたい。（H）

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院 総合産産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院

★入院基本料（一般病棟7:1）
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
<http://www.st-mary-med.or.jp>

一緒に働きませんか？
＝募集＝
医師・看護師・医療技術職

日本の信徒発見 150 周年記念事業

■大浦天主堂献堂 150 周年記念ミサ
2015年2月19日（木）19時 大浦天主堂
■4つの秘密教会跡から浦上教会まで聖母行列
2015年3月15日（日）13時20分
■日本の信徒発見 150 周年記念 連続ミサ
2015年3月17日（火）
■キリシタン資料展（通年、浦上キリシタン資料館）

詳細は長崎教区HPにてご確認ください。
<http://www.nagasaki.catholic.jp/>

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！

<http://www.paulus.jp>
パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために・・・
サンパウロ福岡宣教センター
10：00～18：00（月～土）/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分・駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930

案内板

会合と催し

2月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 2月

8日（日）～14日（土） カトリック神学生黙想会（空室15）
10日（火）～11日（水） 聖マリア在俗会黙想会（空室0）
14日（土）～15日（日） 第6回 月例黙想会（参加者募集中）
20日（金）～22日（日） 魂のエンカウンターグループビーイング研修会（空室20）

*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com（アドレスを変更しました）
インターネットで検索 **福岡黙想の家** **検索**

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：イエス、マリア、ヨセフが祈られた詩編
・日 時：2月12日（木）10時～14時半
・内 容：「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」（マルコ1・15）
詩編51、21
指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父（真命山院長）
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次 回：3月12日（木）「過越祭のハレルの詩編」
詩編113-117、136
☎0968・85・3100 〆0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：2月7日、21日 10時～11時45分
場 所：カトリック大名町教会小聖堂

◆ **福岡**

■聖霊による刷新福岡祈りの集い（日時）毎週月曜11時～12時半（場所）カトリック大名町教会1階（内容）賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい（問合せ先）☎092・521・2503 蓮尾

■震災のための祈りのリレー震災後47ヶ月目（日時）2月11日（水・祝）ミサ7時から・夕の祈り18時半から（場所）カトリック箱崎教会（問合せ先）☎092・721・2031 聖パウロ修道院

■在世フランス人会（日時）2月15日（日）14時（場所）高宮フランシスコ会修道院在世会集会所（指導）ジョン神父（カプチン修道会）（問合せ先）☎092・843・5831 岩崎

■カルメル在世会集會（日時）2月16日（月）10時半から（場所）福岡女子カルメル会修道院・テレサの家（内容）ミサ・講話（指導）中川博道神父（カルメル会）（問合せ先）☎095・828・2350 鶴池

■グレゴリオ聖歌を歌う会（日時）2月17日（火）11時から（場所）聖クララ寮（内容）グレゴリオ聖歌ミサとベネディクション（問合せ先）☎096・380・5686 堀

■福岡召命を共に祈る会（日時）2月17日（火）13時半（毎月第3火曜日）（場所）大名町教会（内容）ミサと話し合い（問合せ先）☎092・921・4532 山口紀子

■こころの健康セミナー（日時）2月22日（日）14時から（場所）福岡黙想の家・ログハウス（テーマ）日本「人口減少社会」はどうなる（講師）小宮豊氏（精神科医師）（問合せ先）☎0940・32・173 矢田

■福岡ホスピスの会（日時）2月22日（日）14時～16時（場所）大名町教会4階（参加費）会員500円・一般1000円（演題）「乳癌外来の窓から」（講師）渡邊良二氏（糸島医師会病院副院長）（問合せ先）☎092・791・7532 柴田

■ラスキン・黙想と祈りの集い（日時）2月27日（金）19時45分から（場所）カトリック大名町教会 小聖堂（問合せ先）☎090・2305・5191 Br.阿部（パウロ会）

■3・11 福岡の今を想う（日時）2月28日（土）13時～16時半（場所）大名町教会聖堂（内容）祈り・オルガン演奏・講演（講師）金澤弘子氏（傾聴ボランティア「白河みずく」代表）（問合せ先）携帯080・8392・7394 目良

代表）（問合せ先）携帯080・8392・7394 目良

■美野島司牧センター
あなたの勇気が路上のいのちを支えます！◆ホームレスの方に手作りお昼ごはん 毎週火曜日10時30分◆越冬期ホームレス支援夜回り 毎週金曜日20時スリーブの会と協働・大名町教会集合◆路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日13時（問合せ先）☎092・431・1419 M・コース神父

筑後

北九州

◆ **地区信徒使徒職協議会会議**（日程）2月2日（月）（内容）地区宣教司牧評議会に向けてJLMMカンボジア活動報告会（日時）2月8日（日）9時のミサ後（場所）カトリック久留米教会（問合せ先）☎0942・30・8057 井手吉武

◆ **佐賀**
■佐賀祈りの集い（日時）2月11日（水・祝）10時～12時。毎月第2水曜日（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

◆ **熊本**
■熊本地区召命を共に祈る会（日時）2月19日（木）11時（場所）カトリック健康教会（連絡先）健康教会☎0963・68・2825 浦川務神父

◆ **熊本**
■熊本地区召命を共に祈る会（日時）2月19日（木）11時（場所）カトリック健康教会（連絡先）健康教会☎0963・68・2825 浦川務神父

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院 総合産産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院

★入院基本料（一般病棟7:1）
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
<http://www.st-mary-med.or.jp>

一緒に働きませんか？
＝募集＝
医師・看護師・医療技術職

日本の信徒発見 150 周年記念事業

■大浦天主堂献堂 150 周年記念ミサ
2015年2月19日（木）19時 大浦天主堂
■4つの秘密教会跡から浦上教会まで聖母行列
2015年3月15日（日）13時20分
■日本の信徒発見 150 周年記念 連続ミサ
2015年3月17日（火）
■キリシタン資料展（通年、浦上キリシタン資料館）

詳細は長崎教区HPにてご確認ください。
<http://www.nagasaki.catholic.jp/>

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！

<http://www.paulus.jp>
パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために・・・
サンパウロ福岡宣教センター
10：00～18：00（月～土）/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分・駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930